



岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

不登校者のための通信ネットワークを用いた学習支援システムの開発

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2008-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 村瀬, 康一郎 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/459

はしがき

岐阜大学カリキュラム開発研究センターでは、通信ネットワークを用いた教材データベースの流通、全国各地の学校との双方向通信による教育実践、衛星通信による教師研修に関する研究等を進めてきた。これらの通信ネットワークを用いた実験から、通信ネットワークが現在の教育における社会的な問題の解決へ適用可能なことが明らかになってきた。一方“いじめ”をはじめ各種の要因による不登校者の問題への対応は、教育研究としても重要であり、また、教育研究者としての社会的責任がある。ところが、学校をはじめ教育研究者による不登校者に対する具体的な学習の支援研究がなされていないのが現状であり、不登校者への学校教師による日常的な支援は不可能な状態である。これを支援するために新しい教育システムの確立が必要とされる。

そこで、現在まで研究を進めてきた通信ネットワークおよび教材等のデータベースを用いて、不登校者に対する新しい学習支援システムの開発研究を行なうこととした。

本開発研究では、現在までの通信ネットワークによる教材流通、教材開発等の研究成果を基礎にして、

①教室と保健室を結んだ遠隔授業参加システムを利用した実践

遠隔カメラ制御ができるTV会議システムを用いて、校内LANによる在籍教室と保健室を結んだ授業参加システムを構築し、実際に保健室登校を行なっている生徒数名を対象に、数学・社会科・美術等での遠隔授業参加の授業実践を行なった。

②家庭とメンタルフレンドを結ぶ遠隔教育相談システムの開発と実践

簡便なTV会議システムを県下の関係施設に設置し組織化を図るとともに、TV会議システムを用いて、不登校生徒の家庭とメンタルフレンドがいる大学研究室を結び、定期的・長期的な教育相談ができるようにし、実際に不登校生徒2名に対して実践を行った。学校への復帰までには至らなかったが、対人関係形成および学習意欲向上に効果が認められた。

③教材データベースシステム開発とそれを用いた学習支援の開発

カリキュラム開発研究センターの保有する教材・素材データを利用し、オブジェクトデータベースを用いた教材データベースシステムを開発し、個別学習用のパソコン端末によりアクセスできるようにした。個別教材作成用課題素材を、とくに小学校算数について約 11,000 問の整備を行なった。

本研究を実施するにあたり、研究分担者や研究協力者、多くの関係の方々のご協力をいただきました。感謝申し上げます。